

希望坂(北中だより)

第20号 令和3年2月15日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-j/>



◆◇道徳の授業紹介◆◇

本来ならば2月13日(土)は、みやき町教育の日でした。しかし、このコロナ禍のもとでは、保護者の皆様に参観いただくことは困難と教育委員会で判断されましたので、授業参観は中止と致しました。授業は計画通り行いましたので、全クラスが公開するはずだった道徳の授業を紹介します。

1年1組の題材は、「仲間」でした。「仲間」(ケツメイシ)の曲を聴き、いいなと思う歌詞、集団の力を高めるために必要だと考える歌詞に着目する。そして共通の思いをもつ級友をさがす。その中で異なる意見にも気づく。そして、狭い仲間意識を克服し、励まし合って、協力し合って集団生活の向上に努める態度を育てることが大切だということを考える授業でした。歌、ビンゴ、ネームカードという教材が効果的に活用されていました。

1年2組の題材は、「聲の形」でした。アニメ動画を視聴し、登場人物の気持ちやいじめの原因について考えていました。いじめには「被害者」「加害者」「聴衆」「傍観者」の4つの構造があることを理解して、いじめの防止を促す内容でした。いじめを防ぐには、周りの人が正しい反応を示すことが大切だという意見や、傍観者や観衆が頑張るべきだといった意見が出ていました。

1年3組の題材は、「人を助ける仕事」でした。まず、仕事を選ぶときに大切にしたい条件について考えました。人の役に立つか、安定した収入か、人から感謝されるか、自分に合っているか、自分の得意なことかなど、多様な意見が聞かれました。次に、人を助ける仕事はどんなものがあるかについて考えました。弁護士、医者、看護師、自衛官、介護士、消防士などを想起していましたが、訪問美容師のエピソードを聞くことで、美容師もまた人を助ける仕事である、ということに気づきました。どんな仕事でも人の役に立つ仕事であるということに気づき、社会に貢献する態度を育てるという授業のねらいに迫っていました。

2年生の題材は、「立志」でした。昔で言えば2年生の年齢は、男子だったら「元服」、女子だったら「髪あげ」の頃です。つまり、大人の仲間入りをする年頃です。この時に、「志を立てる」ことが求められます。

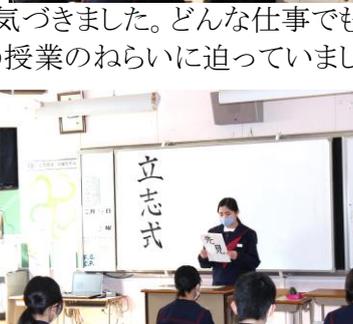
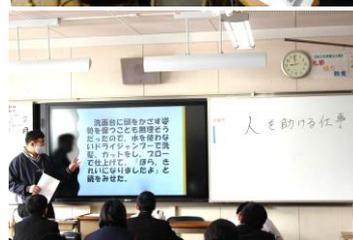
今回の道徳では、今の自分を振り返り、新しい自分を作り上げようとする思いのこもった「座右の銘」を示していました。そして、生徒のみんながしっかりと、自己変革や自分の目標に向けての決意を述べていました。とても頼もしい姿だと思いました。

3年生の道徳では、「二通の手紙」を題材にしていました。ある動物園で規則をまげて姉弟の子どもだけで、しかも時間を過ぎて入園させた係員「元さん」の話でした。元さんに届いた、子どもたちの母親からの感謝の手紙、そして、元さんの停職処分を告げるもう一通の手紙。これを機に退職した元さんの判断。それらから、規則と私たちの幸福について考える授業でした。「情」と「法」の2つに私たちの心が揺れることが時としてあります。難しい判断となります。その時、元さんの「私の無責任な判断で万が一事故にでもなっていたらと思うと……。この年になって初めて考えさせられることばかりです。この二通の手紙のおかげですよ。」という言葉が、思い出させることでしょう。

◆◇3年生 進路に向けて◆◇



私立高校入試、推薦入試、県立高特別選抜などが終わり、一息ついた生徒もいます。合格した生徒たちが校長室に来てくれました。どの生徒も、感謝の気持ちを持つと同時に、次の目標について語ってくれました。「みんながチームとしていい結果を残せるように、協力してください。」とお願いしました。今年度はコロナ禍で、試験の対応もまた複雑になっていますが、健闘を祈っています。



◆◆伝統音楽・箏の授業◆◆

今年も1月中旬から、1年生の音楽の授業で箏(琴)について学習しました。合計6時間、特別非常勤講師をお招きしての授業でした。

講師は箏の生田流宮城派大師範であり、県芸術文化賞も受賞されている山口典江先生です。先生はお弟子さんを数名帯同されて毎回指導して下さいています。生徒の多くは初めて箏を演奏し、緊張しているようでしたが、教えにしたがって頑張り、「さくらさくら」を弾けるまでになっていました。音色や響き、奏法の特徴、表現力の豊かさや繊細さを感じ取ることができ、我が国の伝統音楽の良さを味わうことができたのではないかと思います。



◆◆新生徒会役員との懇談会◆◆2月13日(土)

(校長)「折しも今日は2年生の各教室で「立志式」が開かれました。自立に向けた決意が多く語られていて、とても感心しました。本校の教育目標は「知性・感性・耐性を自らたかめる生徒の育成」です。その「自らたかめる」というところが、生徒会の自主的な活動にかかっていると思います。今日はインタビューの形でみなさんの思いを聞きたいと思います。

Q 会長さん、「勇往邁進」という立派なスローガンで荒島丸が出帆しましたが、今後どのようにオリジナリティーを出していきますか？

(荒島)「コロナのこともあり、今年だからできることを考えています。接触が十分にできない状況では、リモートのシステムを使っての交流など工夫をしたいと思います。」

Q 副会長さん、はじめての生徒会集会を終えて、どうでしたか？

(護山)「司会の仕事は緊張しました。全校をまとめる役をしっかりやりたいです。会長を支えることができればと思います。」

Q 書記さんは、記録の仕事はもとより、生徒会の自主的な活動を本部のブレーンとしてどう推進していきますか？

(宮原・中島)「生徒会新聞は見やすいように、A4両面でなくB4片面にしたいです。1年から3年までの縦のつながりを大切にしたい企画を実施したいです。自分が会長候補の際に開催したいと考えていた一日一善活動など、取り入れて自主性を高められたらと思います。」

Q 生活部の部長さんたちは、各部委員会を終えて、今どんな思いが強いですか？

(古賀・原嶋)「生活部の場合、新しいイベントをやるというよりも、身だしなみや自転車小屋のチェックなど、北中の良い伝統を維持する取組を続けることが大切だと思います。みんなが気持ちよく生活できる状態を作ることが大事です。」



Q 学習文化部の部長さんたちは、各部委員会を終えて、今どんな思いが強いですか？

(大坪・原)「難しかったところもあったけど、いい思いもあります。初めての司会進行は戸惑ってつまずいたけど、先生の助言も生かしながら、一緒に頑張ったのでうまくいったかなと思っています。」

Q 保健体育部の部長さんたちには、今後の活動の目玉となるものが何かありますか？

(北原・田中)「昨年度はクラスマッチをすることができなかったけど、今年は3月にクラスマッチを各学年で企画して、みんなの楽しみにつなげたいです。」

Q 環境美化部の部長さんたちには、今後の活動の目玉となるものが何かありますか？

(末次・寺崎)「キレイキレイ・コンテストを実施する予定ですが、チェック項目を各学級に考えてもらって、さらに協議して作り上げ、みんなが頑張れるようにと計画しています。」

Q 広報放送部の部長さん方は、今後どのように活動を充実させていきますか？

(高倉・田中)「先輩たちが頑張ってきた活動をやるのと同時に、コロナ禍ならではの活動を工夫したいです。声での交流活動、映像を使っての交流活動など、年間を通して考えていきます。」

(校長)「今日はみなさんの声を聞いて、改めて頼もしくまた心強く思いました。今後の活躍を期待しています。よろしくお願ひします。ありがとうございました。」



◆◆今後の予定◆◆

- 16日(火)各部委員会 県立一般出願
- 17日(水)3年校内テスト
- 18日(木)学校評議員会
- 19日(金)生徒会集会(放送)
- 21日(日)部活動休養日
- 24日(水)学年末テスト 3年面接指導
- 25日(木)学年末テスト 3年面接指導
- 26日(金)学年末テスト 3年面接指導 <3月>
- 3日(水)県立高校一般選抜1日目
1年クラスマッチ
2年「高校生に学ぶ」
- 4日(木)県立高校一般選抜2日目
1年「職業人講話」
2年クラスマッチ
- 5日(金)3年修了式 3年生を送る会
- 6日(土)第74回卒業証書授与式